

高月園長先生を囲む会

昭和42年以来50年間、社会的養護の第一線でご活躍され、若松園一筋で職務を全うされてこられました。子どもたちには、「園長先生はおじいちゃん、津嶋先生がお父さん」との説明があり、園長職は退任されますが、今後は理事長として若松園を陰ながら見守り、支えてくださります。

お別れではなく、園長先生に感謝の気持ちを伝える場として『高月園長先生を囲む会』を開きました。子どもたちと職員全員から園長先生へ手紙を送り、代表で勤続21年の荒木主任と16年間お世話になった高3のOさんが手紙を読みました。

終始、和やかな雰囲気では進み、園長先生も笑顔で子どもたち一人ひとりの顔を見ておられました。高月先生、今後ともご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い致します！！



『思い出のアルバム』
♪～いつになっても忘れない～♪

苦情解決委員会

平成29年3月10日、本園集会室にて苦情解決委員会を開催致しました。

第三者委員2名にお越し頂き、平成28年度における本園の入所児童と保護者からの苦情対応についてご審議頂きましたが、特別な指示・指導事項はありませんでした。

「きらきら」に対する御意見、御感想がありましたら、ぜひ下記のメールアドレスまでお寄せ下さい。

また若松園に対する質問もこちらのアドレスまでお願いします。

sbw206@ceres.ocn.ne.jp

お知らせ

社会福祉法第82条の規定により、本法人では利用者からの苦情に適切に対応する体制を整えています。

本法人における苦情解決責任者、苦情受付担当者及び第三者委員を下記により設置し、苦情解決に努めていますので、何かあればお気軽にご相談ください。

- *若松園 苦情解決責任者 **津嶋 悟**
- *若松園 苦情受付担当者 **岩道 和恵**
☎086-277-2261
- <第三者委員>
- *中国学園大学 子ども学部 准教授 **榎尾 真佐枝**
☎086-293-2831
- *主任 児童 委員 **來住 久益子**
☎086-274-7983

新任職員紹介



児童指導員 福田 杏葉

私は大学時代に心理学を学び、また児童福祉関係のアルバイトを通して、将来は子どもたちを近くで支えることのできる職に就きたいと考えました。様々な活動を通して子どもたちと関係を築いていきたいと思っています。若松園では、これまで学んできたことを活かしながら、新たな知識を身に付けられるよう、日々努力していきたいです。そして、子どもたちの心に寄り添える、温かみのある指導員になりたいと思っています。わからないことばかりですが、皆様にはご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご指導をいただき、子どもたちの成長を見守りつつ、私自身も成長したいと思っておりますので、よろしくお願い致します。



心理士 倉橋 路子

私は学生時代に一時保護所にいる子どもたちと関わる機会があり、その活動を通して児童養護施設の子どもの生活を知り、士としての責任を感じてきました。そして、今、児童養護施設で働くことになりました。子どもたちの成長を見守り、彼らを支えることが私の使命だと感じています。子どもたちの笑顔が私の誇りです。皆様のご指導をいただき、子どもたちの成長を見守りつつ、私自身も成長したいと思っておりますので、よろしくお願い致します。



保育士 岡崎 愛実

私は料理やお菓子作りが好きなので、子どもたちと一緒に料理をしたり、お菓子を作る体験をして子どもたちと楽しく過ごしたいです。子どもたちと生活していく中で、楽しいことばかりではなく、時にはぶつかり合い、悩み苦しむこともあると思います。様々なことを子どもたちと共に成長していきけるような職員になりたいです。新しい環境で慣れないことも多く、ご迷惑をおかけすること多いと思いますが、園長先生をはじめ、先輩職員の方々からのご指導をいただきながら、子どもたちからも学び、共に成長していきたいと思っております。精一杯頑張りますので、よろしくお願い致します。



事務員 千田 美保

昨年、求人により初めて児童福祉施設「若松園」を知り、間接的にも何か携わりたい。何か役に立ちたい。と強く思い応募し、11月より臨時職員として4月より正式社員としてお世話になることとなりました。今まで、一般企業の業務経験がなくて、これまでと違う雰囲気・環境に日々新鮮で驚きを感じています。児童福祉施設に関しては全くの素人で知識も乏しいため、これから沢山の経験・知識を身に付けて学んでいきたいと思っています。まだ職員の方々・子どもたちとは「顔はみたことある」程度の存在かと思いますが、これから様々な行事やイベントで接する機会が増えることを楽しみにしています。何分、人の顔と名前を覚えるのが苦手なため、何度も名前を聞くことがあるかもしれませんが、懲りずにお付き合ひをお願いします。



保育士 日野 史菜

私は工作や物作りをすることが好きなので、子どもたちと物作りや様々な体験を通してたくさん関わってみたいと思います。子どもたちとの関わりの中で子どもたちの小さな変化や日々の成長に気づき、気持ちに寄り添っていきけるように関係を築いていきたいです。短大ではうらじゃやサークルに所属していました。若松園の子どもたちもうらじゃを頑張っていると聞き、私もうらじゃの楽しさを子どもたちと共有し、思い出を一緒に作ってみたいと思います。初めての事ばかりで、ご迷惑をおかけすることが多くあると思います。園長先生をはじめ先輩職員の方々からご指導をいただきながら精一杯頑張りたいと思っております。また、子どもたちからも多くのことを学び、一緒に成長したいと思っておりますので、よろしくお願い致します。



調理員 森本 幸子

私は以前富山学区に住んでいました。私の子どもたちも若松園のお友達と仲良くなり、何度か若松園に遊びに行かせて頂きました。また、富山スポーツ少年団剣道部では、挨拶をしたり、気さくな子どもたちと触れ合うことがありました。そんな子どもたちを見て、先生方の日々の生活のご指導と努力の賜物だと感じました。4月から私も若松園で働くことになり、とても嬉しく思っております。食は命とも言われますが、食事の支援だけでなく、子どもたちの悩みや辛いことを聞いてあげられる気さくなおばちゃんになりたいです。新しい環境の中で、スタートするということですが、不安もあります。先輩職員の方々にご指導を頂きながら、精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。